学校番号	１０１２

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	法律入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

18 歳成年制度が施行されて以降、高校生にも大人としての自覚や責任が今まで以上に身近に感じられるようになった。実社会に出たときに必要な法的手続きや制度、さらには社会人として身につけておきたいマナーやルールなどについて知り、その知識や技能を正しく活用できるようになる。また､家族とのかかわりや自身のライフステージに沿った手続きやそれを取り巻く法についても学習する。自身の身近な生活に照らし合わせて考えて、活用できるようになってほしい。

2　学習の到達目標

・ルールや法律の枠組みやその中身について理解できるようになる。
・家族と法律の関係性について理解し、民法の内容に照らして活用できるようになる。
・日常生活と法律の関係について考え、課題や実情を多面的・多角的に考察できるようなる。
・18 歳成年制度について当事者として意識的にとらえられるようになる。
・市民社会の一員として、現代社会の課題に主体的に向き合えるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	私たちの生活を取り巻く法律やその仕組みついて、憲法・民法・刑法・行政法などを中心として理解し、どのような場面でどのような手続きが必要となるのかを理解し活用できるようになる。その中で 18 歳成年制度や子どもの権利、社会保障などについても触れ自身のライフステージと照らして理解できるようになる。	ルールはなぜ必要であるのかという考えを基に、日常生活の種々の場面で求められる判断やその思考について多面的多角的に考察できるようになる。その中で、日常における契約活動や家族を取り巻く環境、犯罪、交通事故などの実生活に結び付く場面を想定して考えを深められるようになる。	自分自身が市民社会の一員であることを自覚し、社会生活で求められる知識や技能を習得しようと意欲的に活動に参加できるようになる。意見交換や実習活動を通して、他者との意見の違いや見方・考え方の違いに気づき、他者の意見を尊重する姿勢を持ちながら合意形成を図れるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ルールと18歳成年制度	・ルールとは何か ・18 歳成年制度の施行	a:18 歳成年制度やそれを取り巻く法律や制度の中身を理解している。 b:成年と未成年でどのような違いがあるのかを考え、適切に表現できる。 c:ルールや法律の役割について実社会とのつながりを意識して意欲的に捉えることができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題	授業態度 提出物
	契約と消費者	・契約のカタチとその方法 ・消費者契約制度 ・契約実務と契約書 ・消費者トラブル	a:民法における契約の種類やその方法について理解できる。 b:契約書や契約手続き書類を見て、その中身や特徴について判断し内容を適切に表現できる。 c:消費者トラブルやその事例について調べ、意欲的に発表等の課題に臨める。	定期考査	定期考査 発表課題	授業態度 提出物
2学期	民法と家族	・家族と法のかかわり ・戸籍制度 ・夫婦の法律関係 ・出生と生命 ・子どもの成長と権利 ・死との向き合い方、死生観 ・臓器提供制度 ・相続の法律関係	a:家族の範囲や定義、ライフステージごとの法的手続きについて理解し活用できる。 b:自身と家族のかかわりや現代社会における家族構成の変化について考え、自身の言葉で表現できる。 c:ライフステージごとの当事者と周囲を取り巻く環境について捉え、それをもとに意欲的に活動に参加できる。	定期考査	定期考査 レポート 課題	授業態度 提出物
	刑法と犯罪・司法	・私たちの暮らしと犯罪 ・死刑制度 ・刑罰の重さ ・裁判と司法 ・裁判員裁判	a:犯罪とは何かについて司法とのかかわりをもとに考え理解できる。 b:裁判員制度や裁判の仕組みついて捉え、その制度の在り方について考えられる。 c:裁判傍聴や実習に意欲的に参加し学びを深められる。	定期考査	定期考査 レポート 課題	授業態度 提出物

3学期	行政と私たち	・交通事故と運転免許制度 ・公的医療保険制度 ・介護保険制度 ・市民社会の在り方	a:私たちの暮らしと行政の関わりについて理解し、交通事故や社会保障の在り方について理解する。 b:医療保険や介護保険などの実態について考え、現代社会の課題やその解決策を表現できるようになる。 c:市民社会の一員として必要な考えや技能を身につけるために、意欲的に活動に参加できる。	定期考査	定期考査 レポート 課題	授業態度 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度